

福祉サービス第三者評価結果の公表ガイドライン

①第三者評価機関情報

評価機関名：	社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会
訪問調査実施期間：	平成25年9月3日(火)

②事業者情報

名称：	社会福祉法人 米子福祉会 河崎保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	理事長 岸岡 和男	定員(利用人数)：	130名(149名)
所在地：	鳥取県米子市河崎483-1	TEL	0859-29-4633

③総 評

◇特に評価の高い点

1. 保育内容の向上の取り組みについて
保育園は、平成23年3月に改築され施設・設備とも充実が図られています。玄関正面にはゆったりとした絵本コーナーが設置され親子で自由に絵本選びが出来たり、給食のレシピをサンプルと一緒に置いて保護者へ伝えたり、子どもと保護者とのかかわりを大切にしながら保育内容の向上に取り組まれています。
2. 職場環境の取り組みについて
園長は、一人一人の子どもを大切にしたい保育理念の実現のため率先垂範の姿勢で行動され、職員全体の意欲の向上と明るく働きやすい職場環境づくりにリーダーシップを発揮しておられます。

◇改善を求められる点

1. 中・長期計画の策定について
理念や基本方針の実現に向けて現状分析を行い、施設経営や職員の能力開発・育成などを盛り込んだ中・長期計画の策定が望まれます。
2. 職員の資質向上に向けた取り組みについて
人材の能力開発・育成の視点で、客観的な基準に基づいた人事考課を実施するとともに、人材育成計画に基づく個別職員の研修計画の実施が望まれます。
3. 外部監査の実施に向けて
客観的に経営上の改善課題を把握するためにも、外部監査の実施が望まれます。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審し、当法人の不足している部分、改善すべき点が明確になりました。中・長期計画について、今までは分野ごとに作成しておりましたが、ご指摘をいただいたことで、総合的な中・長期計画の必要性を感じました。外部監査、人事考課につきましては、導入に向け取り組みを進め、その他の項目につきましても、今後の改善につなげてまいります。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり

福祉サービス第三者評価結果

※すべての評価項目（53項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a・b・c	①法人の保育理念は、法人の全保育所園長会で検討し「笑顔に会える保育園、保護者と地域とともに」として明文化しておられます。 ②理念に基づく基本方針は、保育サービスの特性を踏まえ、家庭・地域連携をもとに、子どもの視点を大切に4つの柱で構成、職員の行動規範にしておられます。理念・基本方針は、玄関、各保育室、事務室に掲示されるとともに、入園のしおり、パンフレット、ホームページ、事業計画などに記載しておられます。
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a・b・c	
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a・b・c	①職員周知は、年度当初の全体職員会議で資料配布し分かりやすく説明しておられます。また、理念・基本方針等が記載された「職員ハンドブック」を全員に配布し、いつでも見ることができるようにしておられます。 ②保護者には、入園時と保護者会総会の際に園のしおりを配布し説明しておられます。地域や関係機関には、年度当初の園だよりに掲載して、理解を促す取り組みをしておられます。
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a・b・c	

Ⅰ-2 事業計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a・b・c	①中・長期計画は策定しておられません。今後、法人本部との連携をもとに中・長期計画の策定を予定しておられます。 ②単年度ごとの事業計画を作成しておられますが、中・長期計画が未策定で内容が反映したものとなっていません。
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・b・c	
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a・b・c	①事業計画は、保育方針や課題を踏まえ、園長補佐が立案し、クラス会の意見反映をもとに全職員が話し合い策定しておられます。 ②事業計画は、年度当初の全体職員会議で全職員に配布して周知しておられます。事業実施後は、クラス会や職員会議で振り返り、今後の取り組みに活かしておられます。 ③保護者には、入園のしおりや年間行事予定を配布して、園の活動や行事を説明しておられますが、今後は、事業計画をわかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫が求められます。
Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	a・b・c	
Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	a・b・c	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

評価項目	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a • b • c	①業務分担表に文書化するとともに、年度当初の全体職員会議で園の保育方針に基づく自らの責任と役割について表明しておられます。災害時においても同様に園長の役割を明文化しておられます。 ②法令遵守や人事管理等に関する研修・会議に参加し、職員会議で周知しておられます。遵守すべき法令等はリスト化し、書籍は事務室に備え付けてありますが、日常的に職員に周知するための取り組みに期待します。
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a • b • c	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a • b • c	①日常の子どもの様子、保育内容、職員の状況を常に把握し、改善点を的確にアドバイスするなど指導力を発揮しておられます。また、保育の質の向上に向けて毎月1回の合同職員会議でテーマを決めて話し合いをしておられます。 ②法人本部と連携を取り、経営状況や人員配置、職員の働きやすい環境整備などの改善に取り組んでおられます。さらなる指導力の発揮と業務の効率化や改善のための体制を組織内に整備されることを期待します。
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a • b • c	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a • b • c	①事業経営に関する情報は、法人本部から随時伝達されるとともに、種別協議会の研修会・会議などから把握しておられます。地域の状況は、公民館や民生委員から情報を収集しておられます。今後は、その情報を基に中・長期計画の策定、事業計画への反映が望まれます。 ②法人本部と連携を取りながら、園長会・業務改善会議などで分析・検討が行われています。園では、在園児の推移やコストを月次で確認しておられます。今後は、職員同士による検討の場の設定など組織的としての仕組みづくりが求められます。 ③外部監査は実施されていません。客観的に経営上の改善課題を把握するためにも、外部監査に取り組みることが望まれます。
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a • b • c	
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	a • b • c	

Ⅱ-2 人材の確保・養成

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a • b • c	①法人本部としてのプランはあります。園としても法人本部と連携して必要な人材や人員体制についての具体的なプランを検討されることが必要です。 ②年2回の自己評価や個人面談などの人事評価は行われていますが、人事考課は実施されていません。人材の能力開発・育成・公正な職員処遇、職員意欲を喚起するなど、客観的な基準に基づいた人事考課の取り組みを期待します。
Ⅱ-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a • b • c	

II-2-2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-2-1) 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a (b) c	①園長補佐が、職員の意向をもとに勤務表を作成、有給休暇取得状況などを定期的に確認しておられます。職員の就業状況や意向について分析・検討を行い、改善に向けた組織的な仕組みづくりが求められます。 ②米子市勤労者福祉サービスセンターに加入し、健康診断の実施や総合的な福利厚生事業が行なわれています。法人全体のNCサークルでも親睦行事などを行い、コミュニケーションのとりやすい職場づくりに取り組んでおられます。
II-2-2-2) 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	(a) b・c	
II-2-3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-3-1) 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a (b)・c	①基本方針や事業計画に研修の基本姿勢は示されていますが、一人一人の職員の資質及び専門性の向上に向けた具体的な育成方針の明示が望まれます。 ②職員の知識、技能、経験年数等を把握し、各職員に求められる研修に参加しておられますが、個別の研修計画は策定されていません。個別の職員育成のため組織としての研修計画を策定され、計画に基づいて実施されることが求められます。 ③研修後は、研修報告を提出して合同職員会議で報告等が行われていますが、個別の研修計画が未策定のため、計画に基づいた評価・見直しとはなっていません。
II-2-3-2) 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a・b (c)	
II-2-3-3) 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・b (c)	
II-2-4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
II-2-4-1) 実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	(a)・b・c	①実習生受け入れマニュアルをもとに、担当職員を配置して事前オリエンテーションを行い、実習内容の充実に努められています。育成プログラムは、養成校と連携したカリキュラムに沿って進められています。

II-3 安全管理

評価項目	第三者評価結果	コメント
II-3-1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-1-1) 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	(a)・b・c	①緊急時対応、感染症予防などのマニュアルをもとに体制を整備して、全員職員会議で話し合いが行われ周知が図られています。保護者への周知は入園のしおりで行っておられます。 ②非常災害時マニュアルをもとに対応体制を決めておられます。毎月の非常災害訓練では、火災、地震、津波、不審者侵入を想定して避難訓練が実施されています。訓練にあたっては、全職員の役割の周知とともに、地域と連携するなどの取り組みが期待されます。 ③遊具・施設安全点検の担当職員を決めて、点検を行っておられます。ヒヤリハットの内容を職員会議で検証し、未然防止策を検討されています。各クラスには、ヒヤリマップを掲示しておられます。
II-3-1-2) 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a (b) c	
II-3-1-3) 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	(a)・b・c	

Ⅱ-4 地域との交流と連携

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域とのかわりを大切にしている。	a b · c	①地域との連携について事業計画に明示しておられます。公民館行事への参加や地域の高齢者との七夕飾りの作成、昔遊び体験など多様な交流事業が行われています。また、中・高校生の保育体験も担当者を決め受け入れておられます。 ②未就園児を対象にした園庭開放の計画や子育て講演会を実施しておられますが、さらに関係機関と連携しながら地域の子育てニーズの把握に努め、保育所が有する機能を地域に還元できる工夫が求められます。 ③ボランティア受け入れは、担当者を決め、依頼があれば対応しておられますが、ボランティア受け入れマニュアルが未整備となっています。
Ⅱ-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a b · c	
Ⅱ-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a · b c	
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	a b · c	①行政、医療機関、警察、小学校など関係機関の情報をリスト化して事務室に掲示しておられます。必要な時には保護者にも情報提供しておられます。 ②個々の子どもや家庭のケース検討において、必要な機関（小学校、鳥取大学医学部、米子市児童相談室、健康対策課等）との連携や連絡会等への参画が行われています。
Ⅱ-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	a b · c	
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	a b · c	①公民館との連携の中や園を利用している保護者から、子育てニーズの把握に努めておられますが、今後は園から積極的にニーズを把握する取り組みを期待します。 ②地域のニーズにより乳児保育や延長保育、さらに土曜日の通常保育に取り組んでおられます。今後は、地域の子育て支援に対するニーズの把握に努め、具体的な取り組みが行われるよう期待します。
Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a b · c	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取り組みを行っている。	a b · c	①園の保育方針に一人一人を大切にされた保育について明示され、共通理解のもとに保育実践が行われています。人権尊重についても、合同職員会議で定期的に話し合われたり、人権に関する研修会へ参加して共通理解を図っておられます。 ②プライバシー保護規程、マニュアル等の整備が望まれます。
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a · b c	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a b · c	①個別懇談や送迎時の対話により意向の聞き取りを行うとともに、子育てアンケートを行い、その結果をもとに保育課程・発達過程の見直しが行われています。アンケート結果は、機関誌によって保護者に伝えられています。

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a (b) c	①気軽に相談や意見を聞く場として談話室を設置しております。登降園時や連絡帳など日々の保護者とのかかわりの中で信頼関係を築き、相談しやすい環境づくりに努めておりますが、相談窓口や相談方法などわかりやすく説明した文書の作成が望まれます。
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	(a) b・c	②苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置し、玄関に名前、連絡先を掲示しております。苦情内容、解決結果は法人のホームページで公表したり、玄関に掲示しております。
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	(a) b・c	③苦情対応マニュアルを整備し迅速に対応しております。意見・提案は職員間で検討、対応して受付処理簿に記録するとともに、結果を文書や連絡黒板で伝え、保育の改善に反映しております。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a (b) c	①全職員が自己評価を年2回行い、その都度合同職員会議で報告し、改善課題の分析・検討をしております。第三者評価の受審は本年度初めて取り組まれました。 ②自己評価の検討会により、改善課題を明らかにし、改善できることは実行しております。今後は、評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善実施計画を立て実行されることが求められます。
Ⅲ-2-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行している。	a (b) c	
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	(a) b・c	①保育理念や基本方針、保育課程に基づいて「保育業務マニュアル」が策定され、標準的な実施方法を文書化しております。 ②年度当初に自己評価や保護者の意見等を反映して見直しをしております。標準的な実施方法は、定期的に検証し、必要な見直しを組織的に実施できる仕組みの確立に期待します。
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a (b) c	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	(a) b・c	①児童票により一人一人の子どもの発達状況や保育内容が記録してあります。未満児と要支援児は個別指導計画が作成され記録しております。職員間で書き方に差異が生じないように、記録要領を作成しております。 ②個人情報保護、情報公開、文書管理に関する規程を定め適切に管理しております。園長が記録の保管、保存、廃棄の責任者となっています。 ③合同職員会議で定期的に個別の支援方法などの情報を共有しております。日々の利用者に関する情報は、伝達記録簿で引き継がれています。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	(a) b・c	
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a) b・c	

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a • b • c	①ホームページで情報を提供したり、入園のしおり、パンフレットなどを作成しておられます。見学者には、パンフレットなどを配布して具体的に説明しておられます。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a • b • c	②米子市では、利用申込み、利用決定は米子市が行っています。利用開始にあたっては、入園のしおりで説明し、同意を得ておられます。
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a • b • c	①転園に際しては、必要に応じて情報提供や相談対応など連携がとられていますが、継続性に配慮して引継ぎ手順書等の作成が望まれます。卒園に際しては、小学校と連携、児童要録を渡しておられます。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

評価項目	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a • b • c	①家庭状況調査票などで子どもの育ちや保護者の生活状況を把握し記録しておられます。乳児、アレルギー児、要支援児など、入所前、入所後に聴き取り調査によりニーズを把握しておられますが、手順書の作成が望まれます。
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a • b • c	①子どもの発達過程や発達状況をもとに、指導計画を作成しておられます。子どもの実態に基づき年間計画、月案、週日案を作成し、相互の関連性を持たせておられます。
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a • b • c	②保育をしていく過程での振り返りをもとに、各クラス会や職員会議で定期的に評価・見直しをしておられますが、手順書の作成が望まれます。

福祉サービス第三者評価結果 (付加基準—保育所版—)

※すべての評価項目（24項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

A-1 保育所保育の基本

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a・b・c	<p>①保育課程は保育方針に基づき、発達過程を踏まえて編成されており、定期的に見直しを行っておられます。</p> <p>②保育室は、明るく衛生的で安全面に配慮した環境を整備しておられます。子どもの生育歴や発達特性に配慮して、やさしく声をかけたり、スキンシップをとったり、一人一人に応じた保育実践をしておられます。また、体調の変化に迅速に対応するため、SIDS対応マニュアルを作成しチェックをしておられます。</p> <p>③自分であろうとする気持ちを大切にしながら、落ち着いた雰囲気の中で、子どもがゆったりと安心して過ごせるように配慮しておられます。保護者には、定期的に「クラスだより」を発行し、子どもの自我の育ちや関わり方について伝えておられます。</p> <p>④3歳から6歳までの発達をとらえ、一人一人の育ちに応じて、基本的習慣が身に付くように援助しておられます。当番活動・菜園活動・異年齢活動等様々な経験を通して、集団の中で自分の力を発揮しながら友だちと力を合わせてやり遂げる喜びを感じられるように取り組まれておられます。</p> <p>⑤小学校と連携して交流計画を作成し、小学生との交流や授業体験を通して就学への見通しへとつなげておられます。また、保護者が就学について見通しが持てるようクラス座談会を開催し、ゲストティチャーから話を聞く場を設けられています。</p>
A-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c	
A-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c	
A-1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a・b・c	
A-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	a・b・c	
A-1-(2) 環境を通して行う保育		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c	<p>①子どもが心地よく生活や遊びができるよう、保育室の採光や換気の配慮、子どもが利用しやすいトイレの設置など保健環境に配慮しておられます。保育者は、丁寧な言葉かけを通して子どもとの信頼関係を築き、一人一人が安心して過ごせるよう配慮しておられます。</p> <p>②基本的生活習慣の自立に向けては、一人一人の育ちを把握しながら必要に応じて援助し、子どもがやろうとする意欲が持てるよう働きかけておられます。園庭での遊びや体操など戸外での活動を通して体力づくりに取り組んでおられます。</p> <p>③子どもが自由に遊べるよう、発達や興味に即した玩具を準備し、取り出しやすい環境を整備しておられます。また、菜園活動やクッキング保育等役割を持った活動を通して協同的な体験ができるよう働きかけておられます。</p> <p>④園庭近くの畑を提供してもらい、自然に触れ親しめる活動に取り組んでおられます。公民館行事への参加や地域のお年寄りとの交通安全指導、昔あそびの会など地域の人たちと接する機会を多くつくっておられます。</p> <p>⑤毎日の絵本の読み聞かせや玄関ホールにゆったりと読める絵本コーナーを設けておられます。保護者にもお便りを通して情報提供し親子が楽しめるよう工夫しておられます。また、日々の保育の中で歌やリズム遊びに親しんだり、毎月講師を招いてリトミックを行っておられます。</p>
A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a・b・c	
A-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c	
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかがわれるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c	
A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a・b・c	

A-1-(3) 職員の資質向上		
A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	○ a ・ b ・ c	①日々の保育の中で、個人、クラス内などで自らの保育を振り返り、保育の改善に取り組んでおられます。年2回、自己評価を行い、その結果を合同職員会議で話し合い園全体の保育の改善に活かしておられます。

A-2 子どもの生活と発達

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 生活と発達の連続性		
A-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	○ a ・ b ・ c	①子どもの家庭環境や生活リズムを把握し、一人一人に合った言葉かけや対応しておられます。保育士同士が同じ視点で接することができるよう、園内公開保育などを通して共通理解を図る取り組みをしておられます。 ②障がい児加配職員を配置し、専門機関や医療との連携を図るとともに、全職員が共通理解を持てるよう定期的に話し合いをしておられます。また、保護者の思いに寄り添い、お互いが連携を密にして相互理解を図っておられます。 ③家庭的でくつろげ、好きな遊びができるよう環境を整えるとともに異年齢の子どもが遊べるように配慮しておられます。子どもの状態や保護者からの伝言等は、遅番が翌日の早番に記録をして引継ぎされています。
A-2-(1)-②障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	○ a ・ b ・ c	
A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	○ a ・ b ・ c	
A-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
A-2-(2)-①子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	○ a ・ b ・ c	①子どもの健康管理は、マニュアルや保健年間計画を策定し、職員の共通理解のもと対応しておられます。既往症や予防接種の状況などを保護者から常に情報を聞き、保育者がそれを共有して一人一人の状態に応じた健康管理を実施しておられます。 ②菜園活動を通して食べ物に関心を持たせたり、クッキング保育を定期的に計画したり楽しく食事ができるよう工夫しておられます。また、一人一人の状態に応じた食事の量や代替食にも配慮しておられます。 ③調理員は、子どもたちとの関わりを通して、子どもの発育状況や体調を把握し調理方法などの工夫をしておられます。また、収穫した野菜など季節に合わせた食材や行事食も取り入れておられます。 ④内科検診、歯科検診、耳鼻科検診の結果を保護者に伝えるとともに、職員に伝達し日々の保育に反映しておられます。看護師が毎月「ほげんだより」を発行し、保健衛生についての情報を提供し啓発しておられます。
A-2-(2)-②食事を楽しむことができる工夫をしている。	○ a ・ b ・ c	
A-2-(2)-③乳幼児にふさわしい食事が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	○ a ・ b ・ c	
A-2-(2)-④健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○ a ・ b ・ c	
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制		
A-2-(3)-①アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	○ a ・ b ・ c	①アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、入園前にその有無を確認し、医師の指示書のもと、子どもの状況に応じた除去食の提供など適切な対応をしておられます。アレルギー疾患についての知識や情報を全職員が共有するため、全員職員会議で周知しておられます。 ②調理施設衛生管理マニュアルやチェック表を作成して、毎日点検、清掃、消毒を行い清潔に保たれるように衛生管理を徹底しておられます。
A-2-(3)-②調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	○ a ・ b ・ c	

A-3 保護者に対する支援

評価項目	第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 家庭との緊密な連携		
A-3-(1)-①子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○ a b・c	①毎月の献立表や食育だよりの配布、保護者による給食試食会などで、食育に関心を持ってもらうための働きかけをしておられます。さらに、保護者用に給食のレシピとサンプルを玄関において保育所で提供する食事に対する関心を促しておられます。
A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	○ a b・c	②送迎の際の対話や連絡ノート、保育参加日や個人懇談などで保護者とのコミュニケーションをとって、必要な記録を残しておられます。
A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	○ a b・c	③クラス懇談、保育参加日など子どもの発達について保護者と共通理解を得るための機会を設けておられます。また、保護者の保育士体験日を設け、日々の保育の意図や保育実践の理解を促す取り組みも行っておられます。
A-3-(1)-④虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	○ a b・c	④虐待防止マニュアルを職員間で共有し、早期発見に努めておられます。不適切な養育が疑われる場合には、直ちに園長に知らせ、市の児童相談室などと連携して対応する体制を整えておられます。